

報道関係者各位  
プレスリリース

2016年1月26日  
アスタミューゼ株式会社

## 「人工知能（知的エージェント・知能システム）」市場における 科研費獲得ランキング（大学・研究機関別）

～1位は東京大学で約21億円、「高度言語理解のための意味・知識処理の基盤技術に関する研究」など144件で獲得～

近年、より成熟し横断的になった産業の中で、多くの企業が異分野での新規事業創出を目指し、また大学・研究機関は研究開発成果・特許の事業化促進を活発化させるなど、激しい競争環境が生まれています。

この状況下で、アスタミューゼは「投資」と「共感」が未来を創ると考え、どのようなテーマが共感を呼び、どのような形で投資を集めているのかを独自に分析しています。

総務省によると、企業の好業績などを背景に、企業や大学・研究機関などの2014年度の科学技術研究費総額が前年度比4.6%増の18兆9713億円となり、2年連続の増加で、リーマン・ショック前の07年度（18兆9438億円）を上回って過去最高を更新しました。また、国内総生産(GDP)に占める比率も3.9%と過去最高を記録しています。

このように研究開発への投資に追い風が吹く中で、競争的研究資金である「科研費」の平成28年度助成額は前年度より25億円増の2343億円になる見通しとなっています。（※1）

そこで今回は、有望成長市場のうちの一つであり、2006年以降で総額約120億円の科研費が交付されている「人工知能(知的エージェント・知能システム)」市場における大学・研究機関別の科研費獲得ランキングを発表します。

※今後、科研費獲得ランキング発表予定の市場

- ・2月3日： 「ロケット・宇宙航行システム」市場
- ・2月15日： 「仮想現実（AR・VR・SR・MR）・3D投影」市場
- ・2月22日： 「機能性食品/飲料」市場

(※1) 財務省「平成28年度文教予算のポイント（概要）」より引用

■ 「人工知能(知的エージェント・知能システム)市場における大学・研究機関別 (※2) の科研費獲得ランキング(※3)

(※2) 研究代表者が所属する大学・研究機関

(※3) 2006~2015年の交付分。2016年1月時点でデータ取得

順位	大学・研究機関名	件数	主な研究テーマ	配分額 (円・計画含)
1	東京大学	144	高度言語理解のための意味・知識処理の基盤技術に関する研究	2,072,388,000
2	京都大学	76	記号過程を内包した動的適応システムの設計論	961,169,000
3	大阪大学	68	構成的手法による身体バブリングから社会性獲得にいたる発達過程の理解と構築	860,057,000
4	東京工業大学	58	代表性のあるコーパスを利用した日本語意味解析	502,740,000

5	九州大学	49	リバーズ 4D 材料エンジニアリングによる材料開発プロセス革新	428,877,000
6	名古屋大学	15	ノンコーディング RNA による発現統御ネットワークの解明に基づくがんの個性の描出	398,830,000
7	国立情報学研究所	25	情報爆発時代の情報検索基盤技術	377,790,000
8	産業技術総合研究所	37	大規模・異種の時空間データ統合で生じる矛盾を許容するサイエンスクラウド基盤	363,623,000
9	北海道大学	36	マルチスケールな時空間二ユーロダイナミクスの計測と制御	353,330,000
10	東北大学	38	大規模確率場により高度化された確率推論システムの設計	290,540,000

**成長市場・企業情報メディア『astavision』にてランキング 50 位までをご覧になれます。**

**URL: <http://astavision.com/contents/news/1791?from=pt160126>**

1 位の東京大学は辻井潤一教授らによる「高度言語理解のための意味・知識処理の基盤技術に関する研究」（4 億 9933 万円）など 144 件で約 21 億円を獲得。

2位の京都大学は榎木哲夫教授らによる「記号過程を内包した動的適応システムの設計論」(2億7703万円)など76件で約9億6000万円を獲得。

3位の大阪大学は浅田稔教授らによる「構成的手法による身体バブリングから社会性獲得にいたる発達過程の理解と構築」(1億5184万円)など68件で約8億6000万円を獲得。

4位の東京工業大学は奥村学教授らによる「代表性のあるコーパスを利用した日本語意味解析」(8470万円)など58件で約5億円を獲得。

5位の九州大学は戸田裕之教授らによる「リバーズ4D材料エンジニアリングによる材料開発プロセス革新」(1億3572万円)など49件で約4億3000万円を獲得。

6位の名古屋大学は高橋隆教授らによる「ノンコーディングRNAによる発現統御ネットワークの解明に基づくがんの個性の描出」(2億3725万円)など15件で約4億円を獲得。

7位の国立情報学研究所は安達淳教授らの「情報爆発時代の情報検索基盤技術」(8230万円)など25件で約3億8000万円を獲得。

8位の産業技術総合研究所は小島功研究員らの「大規模・異種の時空間データ統合で生じる矛盾を許容するサイエンスクラウド基盤」(4706万円)など37件で約3億6000万円を獲得。

9位の北海道大学は郷原一寿教授らの「マルチスケールな時空間ニューロダイナミクスの計測と制御」(5031万円)など36件で約3億5000万円を獲得。

10位の東北大学は田中和之教授らの「大規模確率場により高度化された確率推論システムの設計」(6530万円)など38件で2億9000万円を獲得。

## ■「人工知能(知的エージェント・知能システム)」市場について

アスタミューゼでは企業情報・特許情報などのビッグデータ分析により、今後成長が見込まれる有望市場を「180の成長市場」として分類しており、そのひとつが「人工知能(知的エージェント・知能システム)」市場です。

ヒトの知能に匹敵するほどの人工知能は未だ実現していないものの、機械学習をベースに、データマイニング技術や音声・画像認識技術、自然言語処理技術、情報検索技術など、要素技術は既に活用されています。ごく最近までできないと思われてきたヒトの脳を超える人工知能(強いAI)が、近い将来、現実のものになる可能性もあります。とりわけ、日本が得意とするヘルスケアやロボット、自動車、MEMSなどの分野で活躍できる、高度な人工知能が日本発で誕生することが強く期待されています。

アスタミューゼでは、「人工知能(知的エージェント・知能システム)」市場の2025年世界市場規模を1200億米ドルと予想しています。

## ■科研費（科学研究費助成事業）について<sup>(※3)</sup>

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

(※3)日本学術振興会 HP より引用

## ■データのご提供について

アスタミューゼでは、大学・研究機関の研究テーマ以外にもベンチャー企業、技術・特許、アイデアに対する投資情報をご提供しております。また、「人工知能(知的エージェント・知能

システム)」以外にも 179 の有望成長市場に関して同様の情報提供が可能です。(※本プレスリリースのファイル内に、参考資料として「アスタミューゼが定義する 180 の成長市場」一覧を記載しております)

本サービスは有料のデータ提供サービスとなっており、納品形式は Excel データ集でのご提供となります。ご利用希望の企業・大学・研究機関の方は下記問い合わせ窓口よりご連絡ください。また、納品データの活用方法に関する解説、データのカスタマイズやより高度な分析をご要望の場合も、対応させていただきますのでお気軽にお問い合わせくださいませ。

お問い合わせ窓口 : <http://www.astamuse.co.jp/contact/corporation?from=pt160126>

#### ■ アスタミューゼ株式会社について

世界中の課題を解決し、未来を創るプラットフォーム『astamuse.com』( <http://astamuse.com/> ) を提供すると共に、法人向けサービスとして、自社の課題を解決するためのイノベーションに関わるコンサルティングサービスを展開しています。

- ・ 代表者 : 代表取締役 永井 歩
- ・ 設立 : 2005 年 9 月
- ・ 所在地 : 東京都千代田区大手町二丁目 6-2 日本ビル 4 階
- ・ URL: <http://www.astamuse.co.jp/>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

アスタミューゼ株式会社

担当 : 亀久

mail: [press@astamuse.co.jp](mailto:press@astamuse.co.jp)